

令和3年4月1日

研究に関するお知らせ

産後うつおよび児童虐待の予防に向けた妊娠期からの評価システム構築に関する研究

愛育病院では、以下にご説明する研究を行います。

この研究の対象となることをご希望されない場合には、研究対象外とさせていただきますので、以下の研究代表者にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

近年わが国では、出血や肺塞栓等の医学的原因で亡くなる妊婦・産婦は大きく減っています。一方、妊産婦が自殺されるケースが一定の頻度で見られることが浮き彫りになってきました。また、生まれたお子さんへの虐待の報告も減少の兆しが見られないため、周産期からの産後うつ対策やボンディング障害*防止に向けた取り組みが全国的に求められています。

愛育病院においても平成30年1月より、周産期メンタルヘルスに関するスクリーニングを実施するようになり、ハイリスクと評価された妊婦に関しては産後1ヶ月まで助産師を中心としたサポート体制が提供されてきました。開始から数年が経過し、これまでの評価内容を検討・吟味することで今後さらなる良質かつ効率的なサポートが提供できるものと考えられます。

*ボンディング障害：何らかの要因で赤ちゃんに愛情や関心などが湧かない状態のこと

■研究期間

倫理委員会承認日～2022年3月31日

■研究の対象となる方

令和元年10月1日分娩予定となった方から令和2年3月までに分娩された方。

■ご協力頂く内容

個人名やカルテ番号、住所、電話番号といった個人を特定する情報は収集致しません。

- ① 背景情報：母親年齢、母親の婚姻回数、父親年齢、父親の婚姻回数
- ② 妊娠初期の評価項目：精神科受診歴の有無、妊娠初期の妊娠への感情、経済的困窮状況、家族への信頼感、過去2年間の喪失体験の有無、現在の家庭内に関する状況、妊娠初期のうつ尺度・不安尺度
- ③ 妊婦のACEスコア
- ④ 妊娠中期の評価項目：エジンバラ産後うつ質問票、不安尺度（STAI）
- ⑤ 妊娠の環境の評価項目：今回含めての妊娠総回数、今回含めての分娩総回数、不妊治療の有無、切迫早産の有無、妊娠糖尿病の有無、重症妊娠悪阻の有無、高血圧合併症の有

無、妊娠高血圧症候群の有無、甲状腺疾患の有無、服薬状況の有無、特定妊婦指定の有無

- ⑥ 分娩時の母体の評価項目：鉗子分娩の有無、吸引分娩の有無、帝王切開の有無、クリステレル圧出法の有無、麻酔分娩の有無、出血量など
- ⑦ 分娩時の児の評価項目：出生時体重、出生時週数日数、アプガースコア、NICUの入院の有無など
- ⑧ 出生時の評価項目：エジンバラ産後うつ質問票、赤ちゃんの気持ち質問票
- ⑨ 1ヵ月健診時評価項目：エジンバラ産後うつ質問票、赤ちゃんの気持ち質問票、1ヶ月間の授乳の状況

■外部への情報提供

愛育研究所に情報は収集され、解析が行われます。研究データは特定の関係者以外がアクセスできない状態で管理されます。

■当病院の研究責任者：

児童福祉・精神保健研究部研究員および愛育クリニック小児精神保健科 小平 雅基

■本研究全体の研究代表者：

社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会 愛育研究所
〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8 電話：03-3473-8311
小平 雅基
Mail: masakik15@me.com